

平成30年度事業報告書

平成30年度は、特定屋外タンク貯蔵所等に係る受託審査の的確かつ効率的な実施を図るとともに、危険物等の保安技術に関する調査研究、危険物・危険物施設に関する情報収集・提供、危険物関連設備等の性能評価等や危険物運搬容器の試験確認業務等の確実な実施に取り組むなど着実な業務運営を目指してまいりました。

その概要については、次のとおりです。

(本報告書の数値は契約ベースでの数値のため、財務諸表の数値とは異なっています。また、実績額の下段括弧書きの数値は、平成30年度予算額を表記しています。)

1 特定屋外タンク貯蔵所等の受託審査

967基

548,982千円

(573,997千円)

特定屋外タンク貯蔵所等に係る受託審査契約の基数は、予算対比では、基数は90基の減、金額は25,015千円の減となりました。審査区分ごとの内訳は、次表のとおりです。

(単位：基、千円、%)

区 分	平成30年度 契約基数・金額		平成30年度 予算基数・金額		差引増減基数・ 金額(契約-予算)		増減率 契約/予算		
	基 数	金 額	基 数	金 額	基 数	金 額	基 数	金 額	
	特定屋外タンク	939	537,953	1,031	563,994	△ 92	△ 26,041	△ 8.9	△ 4.6
内 設 置 審 査	17	10,224	15	9,252	2	972	13.3	10.5	
	変 更 審 査	703	333,783	795	361,598	△ 92	△ 27,815	△ 11.6	△ 7.7
	保 安 審 査	219	193,946	221	193,144	△ 2	802	△ 0.9	0.4
準特定屋外タンク	28	11,029	26	10,003	2	1,026	7.7	10.2	
内 設 置 審 査	15	7,695	13	6,669	2	1,026	15.4	15.4	
	変 更 審 査	13	3,334	13	3,334	0	0	0.0	0.0
計	967	548,982	1,057	573,997	△ 90	△ 25,015	△ 8.5	△ 4.3	

2 技術援助

126件

51,754千円

(54,372千円)

事業者等の求めに応じて、屋外タンク貯蔵所等の保安対策に係る、次のような専門技術的な課題について支援しました。

(1) 屋外タンク貯蔵所に係るもの		
① 旧法タンクの安全性調査の評価等に係る技術援助	21件	(21基)
② 屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助	8件	
③ タンク開放周期の個別延長に係る技術援助	18件	(18基)
④ 準特定屋外タンクの安全性調査の評価等に係る技術援助	12件	(12基)
⑤ その他危険物貯蔵所等に係る技術援助	29件	

(2) 危険物総合情報システムに係るもの		
危険物総合情報の提供に係る技術援助	38件	

3 性能評価等

188件 36,392千円
(63,707千円)

消防法令上、明確な判断基準が定められていないもの等について、合理的な保安対策の推進に資するため、火災予防上又は消火活動上有効なものかどうか等の性能評価等業務を実施しました。

① 危険物関連設備等の性能評価	108件
② ガス系消火設備等の評価	19件
③ 大型化学消防車等の評価	21件
④ 単独荷卸しに係る仕組みの評価	34件
⑤ 変更工事に係る認定事業所の評価	3件
⑥ 地下貯蔵タンク等の構造及び設備に係る評価	3件

4 試験確認等

(1) 試験確認	525件	90,045千円 (98,704千円)
----------	------	------------------------

危険物等に係る事故の発生を防止するため、危険物の運搬容器や危険物等を取り扱う設備、機器の構造、性能等が所定の技術上の基準に適合するかどうかについて、各種試験を行い確認する業務を実施しました。

① 危険物運搬容器に係る試験確認	200件
② 少量危険物タンクに係る試験確認	32件
③ 二重殻タンクに係る試験確認	115件
④ 固定給油設備等に係る試験確認	66件
⑤ 油中ポンプ設備に係る試験確認	6件
⑥ パッケージ型泡消火設備に係る試験確認	11件
⑦ 超音波厚さ計に係る試験確認	2件
⑧ 屋外貯蔵タンクの内部コーティング材料に係る試験確認	7件
⑨ 防油堤目地部の補強材に係る試験確認	4件
⑩ 放電加工機に係る試験確認	79件

⑪ ナトリウム・硫黄電池に係る試験確認 3件

(2) 危険物データベース登録確認書の交付

772件 1,151千円
(1,166千円)

消防庁の危険物データベースに登録されている物品について、同データベースに登録されていることを証する確認書の交付や同データベースに登録した物品に係る一覧表の発行を実施しました。

① 危険物データベース登録確認書の交付 699件

② 危険物データベース登録物品一覧表の発行 73件

5 危険物施設等の保安に関する診断

2件 1,563千円
(10,292千円)

製油所における自主保安体制に関する変更管理、工事管理等の診断及び評価を実施しました。

6 調査研究

6件 30,904千円
(21,880千円)

受託した調査研究の事業内容は、次のとおりです。

- ① 危険物に係る火災及び流出事故の精査業務
- ② 危険物施設の長期使用に係る調査分析業務
- ③ 平成30年度屋外貯蔵タンクの検査技術の高度化に係る検討解析業務
- ④ 屋外貯蔵タンクの浮き屋根の安全対策に関する調査検討業務
- ⑤ 危険物施設の泡消火設備における合成樹脂配管の使用等に関する調査検討業務
- ⑥ 大規模危険物施設等に係る消防設備等、保安設備等に関する調査（共同研究）

このほか、自主研究として、運搬容器の試験確認基準の見直しに係る検討及び自衛防災組織等の教育訓練研修事業の検討などを行いました。

7 講習会等の開催

71,228千円
(68,928千円)

平成30年度は、集合研修を延べ31会場、受講者総数2,709名で開催するとともに、出前出張研修を延べ38事業所、受講者総数866名で開催しました。

(1) 保安技術講習

危険物保安技術講習会 2会場 678名

(2) 防災管理研修等		
① 防災管理者・副防災管理者研修会	7会場	570名
	延べ22事業所	461名
② 危険物基礎研修	2会場	54名
③ 危険物施設総合研修訓練	1会場	32名
(3) 事故防止セミナー		
危険物事故事例セミナー	2会場	307名
(4) 保安技術専門講習会		
① 屋外タンク実務担当者講習会	4会場	385名
② コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会	2会場	93名
③ 屋外貯蔵タンクのコーティング管理技術者講習会	2会場	194名
④ 屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に関する講習会	7会場	263名
⑤ 単独荷卸しに係る運行管理者等研修会	2会場	133名
	延べ16事業所	405名

8 情報の収集・提供等

(1) 危険物総合情報システム

危険物総合情報システムについて、提供事例の更新・追加により新しい情報を反映させたものとなりました（平成30年度で終了）。

(2) 屋外タンク貯蔵所に係る事故の原因調査

平成30年度は、5製油所で5回の浮き屋根の漏えい事故等の調査を実施しました。

(3) 情報の提供等

危険物等の保安技術に関する情報の提供等として、次のような事業を実施しました。

① 機関誌の発行

技術情報誌「SAFETY & TOMORROW」を隔月に発刊しました。

② ホームページ

ホームページ (<http://www.khk-syoubou.or.jp/>) を通じて協会業務や財務内容等に関する情報の提供に努めました。

③ 危険物事故防止対策論文の募集・表彰

危険物に係る火災・流出等の事故件数が高い水準を示しているなか、事故防止

に係る提案、提言等を得ることを目的として募集したところ、12編の応募があり、消防庁長官賞1編、理事長賞1編及び奨励賞1編を選考しました。

(4) 情報システムの整備

データ管理用サーバーの一元化やセキュリティレベルの確保のため、サーバーのクラウド化を図るとともに、協会内に無線LANを整備しました。

9 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

- ・平成30年5月16日
評議員の任命について
- ・平成30年6月13日
平成29年度事業報告書・財務諸表及び決算報告書(案)について
- ・平成30年7月18日
理事長の選任について
役員の報酬について
- ・平成31年1月15日
評議員の任命について
- ・平成31年3月15日
平成31年度事業計画(案)について
平成31年度予算(案)について
役員の報酬について
顧問の委嘱について

(2) 評議員会

- ・平成30年6月12日
平成29年度事業報告書・財務諸表及び決算報告書(案)について
- ・平成31年3月12日
平成31年度事業計画(案)について
平成31年度予算(案)について

平成29年度事業報告へ